

2022年4月開業予定!!

星野リゾート OMO7 大阪新今宮

・先日のゼミ活動で、散策型フィールドワークを行い、建設中の星野リゾートを見てきました！

・周辺は通天閣など大阪を象徴する観光資源や、商店街があり、地域活性化にとっても期待されています！

・また、この周辺には訪日客需要を見込んだホテル建設が加速しており、JR 西日本は天王寺駅前に「ヴィアインあべの天王寺」をオープンすると発表、訪日客専門の旅行会社、フリープラスも今年4月、JR 新今宮駅南側に訪日客に特化したホテルを開業するなど、既に地域活性化に貢献し始めています！



・コロナの関係で、あまり野外活動などは行けていませんが、先生・ゼミ生ともに元気で楽しくやっています！

皆さんもこれから外出する機会が増えると思いますが、感染予防をし充実した日々を過ごしてください！

引用元：https://saitoshika-west.com/blog-entry-5985.html#google_vignette.

小畑



天王寺にあるあまり知られていないお寺

天王寺駅から四天王寺方向に向かい、細い路地を抜けた先にあるのが 清水寺 である。清水寺と聞くと京都を思い浮かぶ人が多いだろう。しかし、天王寺にも清水寺が存在する。

天王寺の清水寺には内部に楽しめるスポットがたくさんある。1つ目は 清水の舞台 だ。京都の清水寺に比べると少し質素な雰囲気である。しかし、新世界の通天閣を眺めることができる隠れスポットだ。



2つ目は滝である。寺の奥に進むと水が流れ落ちる滝に到着する。この滝は大阪市内で唯一の滝とされる 玉出の滝 だ。滝に打たれて行を行うことも可能である。

そのほかにも清水寺の境内には地藏堂や地藏菩薩像、平和の鐘などがあり、観光スポットに最適な場所となっている。ただし、境内には霊園になっている場所も多くお参りに来る方も多い。見学は迷惑にならないように注意することを心がけよう。

清水寺周辺で観光をしたい方は私が運営するブログをご覧ください。

<https://www.kinki-tabipu.net/?p=109>

(浦山智樹)

最近話題のアイスクリーム🍦

こんにちは！

最近アイスクリームが大阪全体で人気が出てきています。

そこで、今回はあるアイス屋さんについて書きたいと思います。

皆さん「21時にアイス」というアイスクリーム屋さんを知っていますか？
去年の9月からオープンしたアイスクリーム専門店です。不思議な名前ですよ
ね？

自家製でこだわって作られていますし、一つ一つがインスタ映え。

特に、**自家製濃厚生チョコと紫芋モンブラン**がこのお店で人気があります！！

20種類上商品があって、とても人気なお店です。

実は私もそこで働いていて、先日石井先生が食べに来てくれました～！！
ありがとうございます♪上手に写真を撮ってくれたので掲載しておきますね(/・
ω・)/

是非皆さんもドライブがてらにアイスクリームを食べに来てください！！

各店舗に期間限定のメニューがあるので詳しくはインスタグラム“21時にアイス”
でチェック✓



期間限定「イチジクソフト」

営業時間 16：30～24：00

・八尾店 八尾市陽光園 2-3-16

・大正店 大正区泉尾 2-2-3

・近鉄奈良店 奈良市高天町 2-9-1

16：30～24：00

立ち飲み屋チョイ飲みぶらり歩きフィールドワーク⑥空堀商店街

●心齋橋から玉造を東西に貫くルート、古い町並みが魅力の拠点商店街

空堀（からほり）の由来は、その名の通り水が溜まらない堀で、大阪城の南部の防御の役割を担っていた。大阪冬の陣（1614年）では、徳川軍はこの堀があったため大変苦戦した。この堀が埋められことがきっかけとなって、翌年の大阪夏の陣で豊臣軍が負け戦になったといわれている。空堀商店街は、まさにこの埋め立てられた堀の上にできた商店街である。それにしても、どうして水が溜められない堀であったのか？そのことは、商店街を歩けば一目瞭然、松屋町筋の入り口から、谷町筋を超えて、さらに上町筋に至る出口まで、全長800メートルの通りの高低差が西から東へと約10メートルもある。それは、かつて古代の大阪の地形をみると地下鉄谷町線が通る「上町台地」が半島のように突き出て、西側はすべて海であったからである。

心齋橋・松屋町からこの商店街を通り抜けて、大阪市内で「真田山」や玉造造駅（JR&地下鉄）に至るルートは、遊歩道として歩くにふさわしい落ち着いた佇まいが感じられる。この中央区から天王寺区を横断する通りの境界は、いまや大阪市内の文教地区として、若い世代のファミリー層や独身者に超人気のエリアとなっている。至るところに、住んでみたくなるようなマンションが、ゆったりとした穏やかな環境の中に散在し、喧騒の都心部からの至近距離圏内で日々の暮らしを送るのには、申し分ないエリアである。特に空堀商店街の周辺は、買い物や食事が便利で、子育てにも理想的な住・生活環境といってもよい。そのことは、中央区の人口が15年ほど前から急増し、天王寺区とともに、市内の他区が人口減少・停滞傾向にある中において、近年人口還流が際立っていることからわかる。しかも、20歳～40歳層の若い世代の人たちが住み着くようになったことは心強い。それ以上に、次世代を担う児童たちの数が増加したことの意義は、とりわけ大きい。この商店街エリアは、戦災に遭わなかったこともあって、古い民家が多数残り、それをリノベーションして魅力的な住み家に変える努力とも相まって、そのことが商店街振興にもつながるといえる、街づくりの好循環が形成されている。

空堀商店街のメインから横に伸びる路地の高低差も大きく、地形的な多様なゆらぎを感じながらの散歩は、実にゆったりした時間が流れている感覚にとらわれる。そして、路地の通りにお洒落な隠れ家的なビストロやショットバーに出くわす意外性のある散策は、心にゆとりと豊かさを取り戻すには実に良い。何よりも居心地が心に満たされる。昭和レトロという言葉があるが、このエリアは、大阪の生活の匂いが直に容赦なく入り込む下町とは違った「昭和」を懐かしみ、その風情や雰囲気、佇まいが未来に開かれた「昭和」を感じ取ることができる。心齋橋から空堀商店街、そして玉造に至るルートは、ほとんどの人が歩いた経験がないのではないかと距離にして、だいたい3km～4kmあたりで、所要時間にして1時間程度である。立ち飲み屋をはじめとした手軽なお店が自生的にでき、将来賑わいあるスト

リートになり、大阪市の街中の「遊歩道」的な東西の「通り」になる潜在性を秘めている。

●俳優がお忍びでぶらりと来るお店

空堀商店街といえば、スーパー俳優・松田優作がこよなく愛したお店（お好み焼き）の「富紗屋」をあげないわけにはいかない。亡き松田優作が活躍していたことは、いまの若い人たちは、知る由もない。「太陽にほえろ」のジーパン刑事、薬師丸ひろ子と共演した角川映画の「探偵物語」と聞いて、ピントくる人はまず皆無であろう。松田龍平、松田翔太のお父様と聞けば、きっと納得するかもしれない。松田優作だけでなく、店内に入れば、いっぱい掲げられている色紙を見れば、東京や大阪で活躍の有名な俳優や芸人が、このお店に通っていることは即納得できる。松田優作が好んで食したとされる「豚せいろ蒸し鍋」は、超有名な逸品である。蒸した豚肉ともやしをポン酢で食べるということなので、きっと素朴であっさりとし、しかもやみ付きになりそうなことはわかる。大阪の空堀商店街のお店に、あの松田優作が来ていたなんて、というは、いまや商店街の神話にまで高められている。芸人がしばしば来るお店として、「大衆食堂スタンド・そのだ」の存在がある。俳優の松尾諭がテレビで紹介していたが、NHKの朝ドラの撮影時によく立ち寄ったと言っていたことを覚えている。大阪NHKが近いこともあり、その関係で有名人が来ていることが想像できるが、その真偽はよくわからない。このお店が、行列のできる超人気店であるというのは、ともかく家庭的なごく普通の食べ物を肴に、気軽に立ち寄って飲めるだけでも理解できる。しかも美味しく勘定も安く、何よりも生きのよい調理作業の熱気を受けながら、速攻に注文の品が出てくるリズム感が心地よいのも納得。店の前に垂れている、「そのだ」と染め抜いた暖簾を見ただけで、なんか入りたくなり、一杯飲もうかという気にさせる、そんなお店である。流行るお店というのは、こうでなければならない。一昨年オープンした「心斎橋 PARCO」の地下でも営業し賑わっている。

●本格派の香辛料・薬膳&頑固一徹の昭和レトロ

この商店街一帯には、飲み屋だけでなくカレーを食べさせる落ち着いた雰囲気のお店があるのも、魅力的である。なかでも、小麦粉を一切使用しない香辛料をふんだんに使った薬膳カレーの本格派「旧ヤム邸」は、ぜひとも行ってもらいたい。2階建てで内装は木造づくり。タイの昔風の家屋のような居心地の良い空間の中で、インドや東南アジアの本番の香辛料のようなカレーを食べると、血行が良くなって、汗が身体に滲み出して、それだけでも十分健康になった感じになる。他の商店街では、こういったカレーのお店はお目見えしないので、行く価値はある。もう一軒紹介したお店は、谷町筋か少し南に下った「仰麗伊屋」である。その格調高い老舗の店構えを見ただけでも、きっとコクのある濃厚な味わい深いカレーを食べることができるのでは、と想像させるに十分である。メニューは、いたってどこにでもあるシンプルではあるが、とにかく一口食べると、そのルーの熟成度の高さが理解できる。1975年創業で、カウンターでひと際大皿に盛られた頑固一徹を守っている欧風カレーを大

らかな気持ちで、ゆったり熟成された味わい心地は、至福のひと時である。

●鶏と河内鴨、そして鹿も大活躍

飲み屋に焼き鳥はつきもので、このあたり一帯も「焼き鳥」のメッカである。数ある中で、ぜひ行ってもらいたい次の3店舗を紹介したい。いずれも隠れ屋的名店である。

まず、商店街エリアには属しているが、地下鉄谷町線 6 丁目の一番北に位置する①番出口から徒歩数分圏内にある「国型製作所」は、その名前からしてユニークである。名前を聞いただけでは、何のお店かわからない。知人から紹介されて初めて行くことになったお店で、外観・内観とも古民家風の作りで、住宅地の一角にポツンとあるので、知る人ぞ知る隠れ屋的な本格的な焼き鳥をメインにするお店である。2階建の作りで、1階はカウンター席と個室、2階も古民家の間仕切りのスペースで、ゆったり寛ぎながら、本格的な炭火の焼き鳥で酒をこの上なく美味しくいただくことのできるお店である。まるで、古民家住宅の我が家に居るような錯覚にとられるようで、心の疲れを癒すには、うってつけの空間である。

次のお店も、酒飲みの好きそうな魅力的な名前が付けられている。谷町 6 丁目の中ほどの出口を出て路地通りにあるお店で、「炭と蕎麦と酒、今なら」という名前で、名前からして入ってみたいくなる誘惑にかられる。このお店は、「河内鴨」が売りで、それをメインとしたメニューがラインアップされている。ここの「河内鴨」は、阪南大学のある松原市内にある「ツムラ本店」の鴨で、田んぼの中を悠々と足を掻いて縫っている群れの姿をよく見かける。「河内鴨」は、いまや高級のブランド食材で、イタリアンやフレンチなどとして、また高級ホテルや料亭などで活用されている。気軽に食べることができるという意味では、このお店は、うってつけであること間違いなし。鴨肉を肴に名酒で酩酊して、最後に蕎麦や鴨鍋の雑炊でシメというのは、これに勝る贅沢はないのでは？と思える名店である。

もう一つの異色の名店として「たなか屋焼き鳥酒場」がある。商店街エリアからもっとも外れた立地条件にあるお店で、上町筋に面している。ここの売りは、逸品としての焼き鳥はモチロンであるが、それを打ち消すほどに、ここの大将の「占い」が大評判のお店である。知人の女性も定期的に通うほどに、よく当たるとのこと。当るところか的中だそうである。最後に、「鹿」のお店も紹介しておきたい。鹿といっても「鹿肉」を食べるお店ではなく、アート・パンケーキの「ATELIER CICA」である。木目調のメルヘンタッチの動物が描かれた空間で、オリジナルソースでプレートに絵（鹿）を描いてくれることで、いまや女子高生たちをはじめ多くの若い女性たちの行列ができるお店となっている。

●多彩な夢が品よく香る花のオードブル&行列のできる中華料理

「ルアイ」は、パン屋の2階で営業するイタリアンのお店で、とにかく「オードブル」が万華鏡のように見惚れるほどにアートで、インスタ映えとしては言うことなし。最後に、「台風飯店」これほど行列のできるお店はない。待つこと1時間は当たり前超人気店。

まだまだ紹介した店は山ほどある。紙幅の関係で紹介できないのがつらい。 (石井雄二)

空堀商店街・地下鉄谷町線 6 丁目エリアのお店の位置



- ① 富紗家
- ② 大衆食堂スタンド そのだ
- ③ 旧ヤム邸・空堀店
- ④ 侘麗伊屋
- ⑤ 國型製作所
- ⑥ 炭火と蕎麦と酒、今から
- ⑦ たなか屋焼き鳥酒場
- ⑧ ATELIER CICA
- ⑨ レストラン ルアイ
- ⑩ 台風飯店



